

第4回 中央区自治協議会 会議録

開催日時	令和5年8月25日（金曜） 午後3時00分から4時30分まで
会場	中央区役所5階 対策室
出席者	<p>委員</p> <p>渡辺(雅)委員、玉木委員、豊島委員、米倉委員、高田委員、上之山委員、唐沢委員、伊藤委員、野澤委員、樋口委員、山岸委員、鈴木委員、長谷川委員、小林(栄)委員、渡邊(俊)委員、小林(寿)委員、田中(雅)委員、渡部委員、高橋委員、高見委員、田中(晴)委員、小奈委員、森本委員、松川委員、桐生委員、若木委員、北川委員</p> <p>出席 27 名 欠席 5 名 (井上委員、吉岡委員、八木委員、佐藤委員、中嶋委員)</p> <p>事務局・説明者</p> <p>[新潟市] 都市交通政策課新交通推進室 [新潟市教育委員会] 教育支援センター所長、中央図書館長 [中央区役所] 区長、副区長、窓口サービス課長、健康福祉課長、建設課長、保護課長 東出張所長、南出張所長、地域課長、地域課長補佐</p>
議事	<p>1 開会</p> <p>○ 会議の成立について 委員 32 名中 27 名出席のため、規定により会議は成立</p> <p>2 議事（議長＝樋口副会長）</p> <p>（議 長）</p> <p>皆さんこんにちは。本日は佐藤会長が体調不良ということで欠席されましたので、区自治協議会条例施行規則第4条に則り私が議長をさせていただきます。よろしくお願いたします。</p> <p>それでは、議事に入らせていただきます。今回は、議事が2件、報告が2件、討議が1件となっております。</p> <p>（1）市立保育園配置計画に基づく山潟保育園の閉園（案）について （意見聴取結果）（資料 議1）</p>

(議 長)

さっそく議事に入ります。資料議1をご覧くださいと思います。本件につきましては、市立保育園配置計画に基づく山潟保育園の閉園(案)についての回答でございます。本件につきましては前回6月30日に、市立保育園配置計画についての勉強会と、引き続き行われた本会での同案の議案審議が行われ、保育課の南雲課長から説明と審議が行われました。また、福祉分野の所管する第2部会も、7月に意見交換を行っていただき、また、委員の皆さんへの7月21日を締め切りとした書面でも意見を募っております。その結果を踏まえ、資料1の裏面にまとめてあります。ご覧いただきたいと思います。まず、施設の老朽化に伴い閉園はやむを得ないが、利用者が不便を感じないように配慮しながら、転園の手続きを進めていただきたい。近隣に新設予定の認定こども園への引継ぎをスムーズに行っていただきたい。今後、鳥屋野潟の南部開発の影響も考慮しながら、保育利用児童数を適正に予測し、臨機応変に対応していただきたいという意見でございます。また、参考意見として、委員の皆様から大変貴重な意見として反映させていただくために、意見書にも記載させていただきまして、市長に回答したいと思っています。その内容についてですが、保育士不足の解消に向けて、家庭と両立しながら短時間勤務が可能な潜在保育士を活用するなど、ライフスタイルにあわせた多様な働き方ができるよう対応していただきたい。非正規雇用の保育士であっても、研修や勉強会に参加でき、キャリアアップすることができるよう、制度や職場環境を改善していただきたいという項目でございます。

委員の皆さんからは貴重な時間をありがとうございました。本件は資料1の裏面にまとめた意見とおり、中央区自治協議会委員意見として市長あてに提出することとします。よろしいでしょうか。

(異議なしの声)

(議 長)

それでは、異議なしということで決定させていただきました。ありがとうございました。

(2) 中央区地域公共交通検討会議委員の推薦について(資料 議2)

(議 長)

引き続き、資料議2をご覧くださいと思います。中央区地域公共交通検討会議委員の推薦についてでございます。本文を読ませていただきます。市政運営に格別なご理解とご協力をいただき厚く御礼を申し上げます。本会議は、持続可能な公共交通体系の構築に向けて策定している「中央区生活交通改善プラン」の取組評価や令和6年度の改

定に向けた意見交換等を目的として会議を開催いたします。地域の代表として、貴自治協議会の委員からの意見等をいただきたいため、委員の推薦をお願いしたいということです。次のページで、中央区地域交通検討会議開催要綱の第3条、委員構成という中で、検討会議の構成員は別表に掲げる者及び団体の中から当該団体において選出される者とするということですが、別表の構成員の一番上に、中央区自治協議会選出委員とございます。

依頼文で、都市機能の分野を担っている第1部会から選出することになっておりましたので、第1部会で協議した結果でございますが、ここにも書いてありますように、公共交通研究家かつ第1部会長である松川委員と、副部会長の一人である鈴木委員の2名を推薦することになりました。松川委員、鈴木委員、よろしいですか。

皆さんから、この件について意見がございましたらお願いいたします。

それでは、中央区自治協議会からは松川委員と鈴木委員を推薦するというところでよろしいでしょうか。

(拍手)

(議長)

松川委員、一言お願いいたします。

(松川委員)

第1部会の松川です。資料の一番最後のページの構成員というところを見ていただければ分かるのですが、私も過去に一度委員で選ばれて会議に参加しましたが、新潟交通やハイヤー・タクシー協会、都市交通政策課も来ます。実際に循環バスを走らせて、地元の最前線で頑張っている方も来ます。そこに意見を届ける貴重な機会ですので会議の開催が決まったら、できれば全体会で皆さんの意見を聞き、それを全部吸い上げて、直接ぶつけてきたいと思います。特に新潟交通は9月1日から値上げです。260円という均一区間の値段はおそらく全国で一番高いです。部会でも議論になりましたけれども、皆さん、相当フラストレーションがたまっています。それをぶつけるだけでは解決にならないので、市民はどう思っているか、どうしたいかということを経験して、いい化学反応が起きるような意味のある会議にしたいと思っていますので、その点、意見集約等で皆さんのお力を借りることもあると思います。その際はよろしくお願いいたします。

(議長)

ありがとうございました。

鈴木委員もよろしくお願いいたします。

3 報告

――委員活動報告――

(1) 委員からの報告について

①中央区自治協議会 委員推薦会議（資料 報1）

(議 長)

次の議題に移らせていただきます。

委員からの報告について、中央区自治協議会委員推薦会議の若木座長から説明をお願いいたします。

(若木委員)

公募委員の若木でございます。よろしくお願いいたします。

この要旨のとおり、8月2日(水)午後3時から午後4時10分にかけて、対策室において第1回中央区自治協議会を開催いたしました。出席委員は記載の通りで、欠席委員はお二人いましたが、委員10名中8名出席のため、規定により会議は成立いたしました。今回は最初ということで、自己紹介と座長の選出について行いました。互選により私が座長に決定いたしました。職務代理者については、吉岡委員を指名しました。事務局より次の2点の説明がございまして、1つ目に任期途中で委員が退任する場合、補欠委員の決定にかかわる手続きがどう行われるのかということをしてレクチャーしていただきました。2つ目に第9期委員の改選スケジュールを参考に確認しました。いろいろ皆さんの意見があるかと存じますが、それを吸い上げて生かしていきたいと思っております。

(議 長)

ありがとうございました。

これにつきまして、ご意見はございませんでしょうか。なければ、次に、部会からの報告に移らせていただきたいと思います。

(2) 部会からの報告について（資料 報2-1 2-2 2-3 2-4 2-5）

(議 長)

次に部会からの報告です。各部会2か月分を報告していただきます。なお、報告がすべて終わり次第、質疑に移らせていただきたいと思いますので、よろしくお願いいたします。簡潔にスムーズによろしくお願いいたします。

第1部会の松川部会長からお願いします。

①第1部会（資料 報2-1）

（松川委員）

第1部会の松川です。

第2回と第3回をまとめてご報告します。第2回の開催日時が令和5年7月20日、その他の情報はこのとおりとなっています。議題ですが、部会で取り組みたい内容についてフリートークを行いました。まちなかの活性化、観光地の案内の検討、公共交通利用の意識啓発など、さまざまな意見が出ました。その中で、次回の部会に向けて委員の皆さんに私からお願いしました。皆さんは、コミュニティ協議会の代表としてこちらに参加されていますので、コミュニティ協議会の人にだれでもいいから手当たり次第に会って話を聞いて意見を聞いてみることにしました。どういうことを望んでいるのか、どういうことに課題を感じているのか、ヒアリング事項を三つにまとめました。1つ目に、まちづくりへの意見、2つ目として、まちづくりを阻害している要因は何かを聞いてきて、それに対してどのようにしたら解決されるか、3つ目は、まちづくりに関しては公共交通を外しては考えられないので、交通に関する意見を出身母体で聞いて、まとめて次の部会で出してくださいということで、皆さんに宿題を出しまして、第2回の部会は終了となりました。

続いて第3回の部会についてご報告します。第3回は8月21日、今週の月曜日でしたけれども、会場及び出席委員、関係課等はこの表のとおりです。部会活動の前に、第3回の部会では区役所企画事業についてのヒアリングがありました。二つあります。1つ目の「まちなか活性化事業」は今年度までやりまして、来年は廃止になるものなのですが、ルフル広場で賑わい創出を行ったと総務課から報告がありました。次に「ぐるっとサイクルツーリズム」は建設課から報告があり、さまざまところにレンタサイクルの設置が進んでおりますが、今度は沼垂のほうにサイクルポートを臨時に設置して、自転車3台設置し、スタンプラリーをやって、賑わいを創出しようということを社会実験としてやっているということで報告がありました。それぞれに対する意見ですが、「まちなか活性化事業」に対しては、目的が達成されたのかしっかり検証し、関係部署と情報共有、連携してほしいという意見と、ルフル広場の利用について年間計画を作成するなど、市民に分かりやすく周知するよう、管理会社に働きかけてほしいという意見がありました。ルフル広場では子どもの水遊びのようなイベントが開催されたそうですが、実際、何人来て、それが賑わいにどうつながったのかということがまだはっきり検証されていないというイメージがあり、こういった意見が出されました。ルフル広場の利用について年間計画という話がありましたが、ホームページに現時点でも載っていません。年間計画があらかじめ公開されていれば、よりおおくの方に周知ができるのではないかと意見が出されました。

「ぐるっとサイクルツーリズム」については、委員からは分かりやすい、利用しやすい場所にポートを設置してほしい、利用者には何か特典があるなど、利用促進のための

仕掛けがあるとよいという意見が出ました。いつになったら本格実施になるのか、ほかの地域はどうやって進めていくのかなど、いろいろな意見や質問が建設課に対して出されました。

続いて、部会活動についてですが、7月にお出しした三つの宿題に対して、委員からはさまざまな意見が出ました。まちづくりに関しては地域のコンテンツを生かしたまちづくりがいいとか、公共交通を充実してほしいとか、古町は活性化すべきといった意見。あるいは鳥屋野潟南部再開発が決まっていますけれども、そのエリアを活用したほうがいいという意見などが出ました。まちづくりを阻害している要因と解決策については、地域資源を活用し切れていない、PRが不足している。これに関しては特に案内標識が少ない、きちんと周知できていない、観光ルートも整備されていないので整備したほうがいいという意見が出されました。もう一つ違った視点からでは、行政と市民との意見交換の場が少ないということが出されました。行政と地域と企業なども一体となって協力関係を構築したほうがよいのではないかという意見も出ました。交通に関する意見ですが、公共交通の利用でインセンティブを得られる事業を展開したり、バスの乗り換えや乗り場を分かりやすくしたほうがよいという意見も出ました。ここには書いていないのですが、キーワードとして出たのは、特にバスに対する不満です。そもそも乗らないとか、運賃が高すぎる、BRTができてさらに不便になったという、バスに対する不満が部会で噴出しました。ではどうするという事で、バス以外の公共交通も必要ではないかという意見も複数出ました。今の運賃が高すぎるから、インセンティブという言葉もここでも使いましたが、1回、1日乗車券を買えばそれで1日乗れるようにするだけでも回遊性はかなり高まります。過去にも期間限定で何度もやっていますが、なぜこれが通年設定にならないのだという意見も出ました。やはりハードとソフトの両面で、公共交通が新潟は脆弱すぎるという不満がたまっていますので、今回の内容を踏まえて、次回では部会で扱うエリアと、それを踏まえて部会でやりたいことをまちづくりと交通の両面から内容を詰めて、具体的なものに落とし込んでいきたいと思っています。第1部会の皆さんはすごい熱量なので、私もまとめるのに四苦八苦していますが、いい発表ができることを期待しています。

(議長)

ありがとうございました。

引き続き、第2部会の米倉部会長からお願いします。

②第2部会(資料 報2-2)

(米倉委員)

第2部会の米倉です。よろしくお願いします。

第2回、第3回の第2部会の説明をいたします。まず、第2回は7月12日の午後3

時から、こちらで開催いたしました。保育課より、山潟保育園の閉園に関して再度お話していただきました。それに対して、閉園により保育士があふれてしまうことはないかという質問があり、保育士は現在不足しておりますので、そのような問題はないという回答がありました。また、令和8年度に近隣に新園開設予定とあるが、認可済みかという質問が出ましたが、実際、認可というのは建物などができてから申請するため、認可というのはあとになるという回答をいただきました。反対意見はなく承認されました。次に部会活動についてですが、前回、皆さんがどういったことを考えているのかを皆さんでわかり合えることが大事だろうということで、フリートークで、皆さんから自己紹介がてら自分の得意分野ややりたいことお話ししました。その中で、チャットGPTによるアイデアなどはいかがかというお話も出てきました。次回は、より具体的に組みたいことを検討するというので、第3回に続きます。

第3回は今月16日の午後3時から行いました。まず、特色ある区づくり予算について、健康福祉課から、「認知症地域支えあい推進事業」、「赤ちゃん誕生お祝い会&交流会支援事業」の説明がありました。委員からはどのような団体を対象としているかという質問が出ました。建設課から、「都市公園活性化事業（インクルーシブ公園）」の説明がありました。委員からは、インクルーシブ公園というものが何かということを知ってもらわないといけないのではないか、既存の公園についてもまだ整備が整っていない中、新たな公園の整備は賛同を得られないのではないかといった意見がありました。

次に部会活動について、部会のほうで前回フリートークした後、テーマ決めということで皆さんに意見を聞きまして、第2部会では幅が広いのですが、防災に強い人が多いということと、防災というのは協働、福祉、教育、その他すべてにかかわっていくということで、防災をベースとするテーマとして進めていくことにいたしました。防災をテーマといたしまして、どういった取組みをしていくかは宿題といたしまして、今月末までに事務局へ提出することになっています。

(議長)

ありがとうございました。

続きまして、第3部会の田中部会長からお願いします。

③第3部会（資料 報2-3）

(田中(雅)委員)

第3部会担当の湊地区コミュニティ協議会の田中雅史です。

第2回と第3回の部会の会議の報告をさせていただきます。お手元の報2-3-1と報2-3-2です。まとめてご報告します。第2回は7月14日、第3回は8月10日に行われました。私どもの第3部会は担当が「水辺・緑化」とたった4文字なのですが、たった4文字の中に日本海、信濃川、鳥屋野潟という、一つの区では考えられないくらい

の広大な水辺を有しており、緑化というのは優しい言葉ですけれども、公園が全部入るのだという話で、そこに防災林、やすらぎ堤まで入ってくると、担当しきれないという状況を皆さんで確認しました。決まったことは、何をやったらいいか分からないから、まず現地を見ようということで、9月19日、第3部会8名が皆さんを代表して見学してまいります。

事務局から第3部会に関わるいろいろな事業の説明をしていただき、委員の皆さまよりご意見等をいただきました。特に中央区の事業「日と山浜魅力創出事業～ハマベリング!!!～」については詳細にご説明いただきました。区づくり予算については、建設課より「都市公園活性化事業（インクルーシブ公園）」について説明していただき、そもそも建設課がインクルーシブ公園というのはどうすればいいかまだ手探り状態ということなので、考えながら、やりながらということがひしひしと伝わってきました。その他それぞれ第3部会に関わる事業についてご説明いただき、委員からご意見をちょうだいしました。

(議 長)

ありがとうございました。

続きまして、第4部会の唐沢部会長からお願いいたします。

④第4部会（資料 報2-4）

(唐沢委員)

第4部会、栄地区コミュニティ協議会の唐沢です。

第2回部会は7月19日に行いました。部会の活動につきましては、宿題となっておりました部会で取り組みたい事項について、各委員が持ち寄ったものについてそれぞれ発表、提案してもらいました。内容は実にさまざまでしたが、主な意見等を少し紹介します。「みなとまち」として栄えた新潟ですが、「ウォーターフロント」を意識したまちづくりを考えてほしいとか、人気のあるイベント「えんでこまち歩き」について、今、非常に大勢の方が参加しているのだけれども、もっと参加者を増やすため、いろいろなイベントとコラボするような形で工夫をしたらいいのではないかと。中央区といってもいろいろな地域があるので、自分の住んでいるところ以外よく知らないという方もいるので、中央区の歴史について勉強してみたい、そういう機会を設けてほしいという話もありました。高齢者あるいは障がいのある方も含まれると思うのですが、そういう方がまち歩きをしやすい環境づくりを考えてほしいという意見もありました。去年から自治協議会委員をされている方からは、せっかく昨年に中央区市民アンケートというのをやったので、これを今年生かしていけないかというお話がありました。非常にさまざまな意見が出たわけですけれども、これらの意見を踏まえて、第4部会のテーマですが、絞るのではなくて包括的に、歴史、文化、産業、まちなみの四つを中心として検討してい

くことになりました。これが第2回の部会の報告です。

第3回の部会は今週21日に行いました。この日は、特色ある区づくり予算ということで、地域課産業文化振興室からお話がありました。二つの事業についてヒアリングということで、一つは、「地域のお宝！再発見事業」ということで、「えんでこまち歩き」、「夕日ウォーク」、「若者向けまち歩き」という三つの事業等について話があり、意見を求められました。「えんでこまち歩き」については、さらにプラスワンとして食や体験をつけ加えるともっと楽しめる要素になるのではないかという意見がありました。また、「えんでこまち歩き」のリピーターを増やすために特典があるといいということで、ポイントカードを作るといいのではないかという話がありました。次に、「みなとまち新潟 次世代に向けた古町芸妓魅力発信事業」ということで話がありました。古町芸妓さんと若い人との交流を通して、魅力のあるまちづくりを発進していきたいという事業で、これについても委員よりいろいろなご意見がありました。その中で、古町芸妓とは何かと。誤ったイメージを持たれないように、正しい情報を発信してほしいという意見がありました。また、古町芸妓さんの魅力を知ってもらうために、市山流、市山七十郎さんの話を聞く機会があってもいいのではないか、花街文化についてよく知る機会になるのではないかという意見がありました。ここでヒアリングが終わりまして、その後、部会活動の検討に入ったわけですが、中央区市民アンケートについて事務局から説明がありました。事務局のほうから丁寧に説明してもらい、アンケートの内容につきましては次回、各自、アンケートの内容を分析、検討して、我々の部会にどう生かせるかということで考えてくるという宿題が出ましたので、これを次回の部会テーマとしてやっていきたいと思っております。

(議長)

ありがとうございました。

続きまして、中央区自治協議会だより部会の小林部会長からお願いします。

⑤中央区自治協議会だより編集部会（資料 報2-5）

(小林(栄)委員)

自治協議会だより編集部会の小林と申します。

8月7日に第1回会議を行い、部会長に私小林、副部会長に山岸委員、書記に渡部委員が決まりました。8名の編集委員でこれから活動していきます。よろしく申し上げます。資料報2-5のとおりなのですが、第1回の自治協議会だよりの発行は11月5日の予定としました。掲載内容についてですけれども、今までどおりの自治協議会概要のほかに、令和5年度から新しく区ビジョンまちづくり計画が始まりましたので、それぞれの部会が新しい区ビジョンを見据えての活動になっているかと思えます。今後自治協議会だよりでは、各部会の活動をシリーズ化して紹介していこうと決めました。そ

ここで、各部会の皆様にお願ひがあります。各部会の紹介について一言コメントと写真を掲載したいと思っておりますので、協力を願ひします。身近で分かりやすい自治協議会だよりを目指して編集部委員は頑張っておりますので、今後ともよろしく願ひいたします。

(議 長)

それぞれの部会長から簡潔にご説明いただきまして、ありがとうございます。このご報告に対しご意見がございましたら伺っていきたく思います。何か質問などはありませんでしょうか。

(松川委員)

第1部会の松川です。よろしく願ひいたします。

第2部会の第3回の会議概要で、「赤ちゃん誕生お祝い会&交流会支援事業」というものが出てきたので、これについて健康福祉課に伺いたく思います。以前、私は自治協議会の全体会で、この誕生会をもっと周知させるために、例えば各産婦人科などに直接周知すると、生まれたばかりの赤ちゃんを抱えたお母さんへダイレクトに伝わる。市民病院のほか、民間の病院にも通知を置いてくださいということで頼んでみてはどうかということをお願いしました。1年くらい経つと思うのですけれども、その後の進捗状況が分かりましたら伺いたく思います。

(健康福祉課長)

健康福祉課の五十嵐です。

いただいたご質問なのですけれども、まず、この事業につきましては、例えばコミュニティ協議会や自治会、町内会の方々が、ぜひこの地域でお子さんのお祝い会をしたいということで、自主的に開催したいというご提案をいただき、こちらがぜひ願ひしますということで委託させていただくようなものになっておりますので、医療機関に周知させていただくことも必要の方法なのかなと検討したのですが、逆に、開催されない地域もありますので、まずは私どものほうから、多くの地域で開催していただけるような周知をしっかりとしていければいいのかなと思っております。

(小林(寿)委員)

万代地域コミュニティ協議会の小林といいます。

第4部会のところで、中央区市民アンケート結果を参考にと書いてあるのですけれども、それはほかの部会についてもいえることなのではないかと思ひまして、中央区市民アンケートというのはどういった内容で、どの程度の方が答えられて、どのようなものだったのか説明していただければありがたいです。

(北川委員)

副部会長の北川と申します。ご質問ありがとうございます。

手元に、市民アンケートの資料がないので、ざっくりとご説明したいと思います。中央区市民アンケートなのですけれども、前回の第8期の第3部会で実施したアンケートになります。詳しいことは自治協議会のホームページに結果等が載っているので、そちらをご確認いただきたいのですが、実施期間が令和4年4月から5月で、全体としては男女合わせて575名の回答をいただいているアンケートになります。内容なのですけれども、中央区の住みやすさや文化、施設に関してどういったものを思い浮かべますかとか、不便なところはどのようなところですか、どのようなまちになるといいですかといったことを調査したアンケートになります。

(議長)

できましたら、事務局から、次回の会議か部会のときに配付していただければと思いますけれども、よろしいでしょうか。

(田中(雅)委員)

湊地区コミュニティ協議会の田中です。

私は昨年第3部会でこれを担当しましたので、分かる範囲で若干の補足をしたいと思います。部会の活動として、中央区に対してどのような認識を持っているかということを知るためのアンケートでございまして、それは区民だけではなくて、実際に他の地域から中央区に通っている学生さんや成人の方などさまざまな立場の方から広く意見を集めようということで行ったものです。500人という少ないと思われるかもしれませんが、一つの部会のメンバーで手分けをして集めたので、かなり集めたほうではないかと思えますし、半数が20歳前後の若者、男女比もほぼ半々だったと思います。私どもとして一番印象に残っている結果は、住んでいる人も通っている人もおおむね中央区に対していい印象を持って、住みやすい、通いやすい、暮らしやすいと思っているということが浮かび上がったことです。とても貴重なアンケートだったと思います。詳細はホームページ等をご確認いただきたいと思えます。

(若木委員)

公募委員の若木です。

会議概要を見ていて、第2部会の所管分野は大変難しい分野が多くあり、ここから分野を絞るのはすごく難しいような気がします。本来、これは三つの部会に分けてもいいくらい、ほかの部会に比べてもかなり濃いと思います。中央区というよりも日本の課題みたいものがすべてここに詰まっているような気がしてしまいます。できれば将来的に、もう1度分野の割り振りを見直したほうがいいのではないかと感想として言わせていただきます。

(議 長)

ありがとうございました。

この件につきましては、改めて第2部会のほうでご検討いただくということにさせていただきますたいと思います。よろしく願いいたします。

(森本委員)

新潟水辺の会の森本です。若木さんの意見は私もそうだなと思いました。一つにテーマを絞り込むという手はあるかと思うのですけれども、協働でも教育でもどうしても上のほうから全体を見てしまうというような考え方が先に立ってしまいましたが、そうではなく、さまざまな問題を解決するために、いろいろなテーマに共通の問題点を地域で見つけ、それをクリアすることができる、市民目線で面白いかなと思いました。

(議 長)

ありがとうございました。

今ほど、いろいろな意見が出ておりますので、これを参考にしまして、第2部会活動していただきたいと思います。

そのほかにありますでしょうか。よろしいでしょうか。

4 その他

(1) 各所管課からのお知らせ

(議 長)

それでは、その他に移らせていただきます。各所管からのお知らせということで、都市交通政策課からお願いいたします。

(都市交通政策課新交通推進室)

都市交通政策課新交通推進室係長の長谷部と申します。本日は皆様の貴重なお時間をお借りしまして誠にありがとうございます。

本日は、皆様のところに緑色のチラシが配付されているかと思うのですけれども、そちらをご案内させていただきます。表題のとおり、「バス停付近のベンチや上屋等の設置を支援します」ということで、そういった補助事業を当課で行っているところでございます。昨年度から事業が始まりまして、今年度もやっているところでございますけれども、皆様の地域にあるバス停に、例えば上屋がないですとか、バスを待っている環境で椅子がないのでベンチを置きたいですとか、時刻表の掲示板の設置をしたいとか、いろいろな設置に関して半額の補助をさせていただき制度をやらせていただいていると

ころでございます。対象として、法人ですとか、地域の自治会といった団体も補助対象者となっております。調査・設計、材料費、工事費等を補助させていただくものでございますので、もし皆様の地域で何かお困りのことがありましたらご活用いただければと思います。また、地域にお戻りいただいて、何か機会があればご周知いただければ、私どもとしては大変ありがたいと思っている次第でございますので、よろしく願いいたします。

(議長)

ありがとうございました。

続いて、地域課の大倉課長からお願いします。

(地域課長)

地域課長の大倉でございます。よろしくお願いいたします。

私からは、地域課の開催するイベントについてお知らせさせていただきます。「西海岸公園を1日楽しもう!!夕日ウォーク」についてです。チラシをご覧ください。こちらのイベントは中央区のスポーツの推進員と共催で行うものでございます。自然豊かな地域資源である西海岸公園を活用し健康づくりを楽しみ、地域の魅力を感じていただくようなイベントとなっております。ここ数年はコロナ禍の影響で中止ですとか規模を縮小して行うなどしてまいりましたけれども、今年は人数制限を行わずに多くの方に楽しんでいただきたいと思いますと思っております。10月14日(土)西海岸公園自由広場で開催いたします。例年行っているウォーキングは午後2時に一斉スタートします。3kmのショートコースと6kmのロングコースの2種類ありまして、数に限りはございますが、完歩賞もご用意しております。例年ですと、大人気のウォーキングのみなのですが、今年はそのほかに1日を通じて西海岸公園を楽しんでもらおうと、午前11時から午後5時まで各種スポーツ体験会やキッチンカーの出店など企画を盛りだくさん用意しております。ウォーキングのみ申込みが必要でございますが、講座ですとか体験会などは自由にご参加いただけます。チラシの裏面に申込み方法や注意事項など記載がございますので、後ほどご覧ください。ご家族、友人をお誘い合わせのうえ、ぜひ西海岸公園でウォーキングや夕日をお楽しみいただけたらと思います。

次に、「えんでこまち歩き」についてです。現在、チラシを鋭意作成中ですので、お手元に資料はございません。まち歩きの達人であります新潟シティガイドがまちの魅力を分かりやすく解説しながら、観光スポットを巡る秋のえんでこを令和5年10月8日から11月11日に開催いたします。今年度は、コロナ禍で中止しておりました人気のランチ付きコースが復活します。沼垂発酵食ですとか、歴史的建造物を巡るコースなど、区内の見どころを満載した全11コースの実施を予定しております。コースの詳細ですとか申込みの方法につきましては、9月17日、来月第3週の日曜日発行の中央区だよりに掲載予定としておりますので、ぜひご覧ください。

地域課からのお知らせは以上です。ありがとうございます。

(議 長)

ありがとうございました。

5 委員からの議事提案に基づく討議

(議 長)

それでは、委員からの議事提案に基づく討議に移らせていただきます。今回の議員提案に基づく協議事項でございますが、上山校区コミュニティ協議会の上之山委員からの提案でございます。よろしくお願いいたします。

(上之山委員)

上山地区コミュニティ協議会の上之山です。

まずは、委員提案の協議事項として私が提案したものを取り上げていただき、ありがとうございます。なり手不足ということで、自分の自治会またはコミュニティ協議会で意見を聞いておりますので、一番にこれを挙げさせていただきました。最初に、樋口副会長と打ち合わせをしたときに、まずは私が自治会またはコミュニティ協議会の役員になった経緯などを説明して、そこでの問題点を述べてくれと言われましたので、先に述べさせていただきますと思います。

私は、コミュニティ協議会で役員をしていますけれども、その前に自治会の会長をしております。私が自治会の役員になったのは、まずは自治会の持ち回りの区長というものになりまして、区長が終わるころに自治会長がやめられて、副会長が会長になったのですけれども、次の副会長をだれにするかといったときに、私のところに話がきて、1年やろうかと思った次第です。

ところが、会長になった方が、病気になってしまい、事務ができないことも増えてしまったので、会長に辞任届を出していただいて、私が会長代行ということで、年度が終わるまでさせていただきました。次の年度に入るときに新しい会長を募集したのですけれども、どなたも現れず、私がそのまま会長となり、現在に至っております。

そこで、なり手不足を感じたのですけれども、その後、会計をやっていた人が突然辞めまして、後任を探すのもまた一苦労しまして、なり手不足をひしひしと感じております。コミュニティ協議会で、ほかの自治会の方からも話を聞くと、なり手不足が一番の問題になっているようなので、挙げさせていただきました。

どこでも担い手不足を感じておられると思います。多分、全国みんなそうではないかと考えています。自治会にとって一番重大なのは、自治会などの最小のコミュニティが弱体すると、一番問題となるのは災害のときだと考えております。災害のときに自助、

共助、公助というものが盛んに言われていますけれども自助、自分の命は自分で守りなさいといわれても限界があります。公助といわれても、国とか行政がやりなさいといわれても、そこに至るまでに時間もかかりますし人手も足りません。そうした場合に共助ということで、それを担うのは一番に自治会やコミュニティ協議会だと思います。そこに一番影響が出るのではないかと考えています。なり手不足の問題解決のために、輪番制や役員の手当を上げる等を行っても、根本的な解決にはならないと考えております。そこで、皆様からご意見を聞かせていただきたいと思ひます。よろしくお願ひします。

(議 長)

ありがとうございました。

この問題につきましては、令和3年10月の自治協議会のときに、上所校区コミュニティ協議会の高田委員からも提案がありました。この問題については、今言われましたように、解決方法というのはなかなか難しいかと思ひます。今回、このテーマをどう議論するか悩んでいたところ、今、自治協議会に参加している方々は、町内会、自治会、コミュニティ協議会に所属し活動していることに気づきました。ここに参加している人が、なぜ地域活動に入ってきたかを具体的に聞かせていただくと、ヒントになるのではないかと思ひましたので、議長の権限として大変申し訳ありませんけれども、経緯等について聞かせていただきたいと思ひます。端的にお聞かせいただきたいと思ひます。自治協議会には22コミュニティ協議会があるのですが、7名の女性が参加しております。豊島委員いかがでしょうか。

(豊島委員)

入舟地区コミュニティ協議会の豊島と申します。よろしくお願ひいたします。

私が、自主防災会の婦人部長になったのは、コミュニティ協議会からお声がかかったという経緯があります。婦人部長になったときに、会員を各町内から1名ずつ出してもらい、活動をずっと続けてまいりました。そこで、人とのつながりができ、その輪がまた広がったなと思ひました。

その後も、地域の活動のために、防災士の資格を取ることができ、さらに人とのつながりが広がりました。これを大切にしていきたいと思ひます。

(議 長)

ありがとうございました。

もうお一方なのですが、若くして自治協議会に参加していただいております野澤委員、自治協議会に参加された経緯等をお話いただけますか。

(野澤委員)

紫竹山校区コミュニティ協議会の野澤です。

私の場合は去年まで親戚が自治会長をやっておられて、同時にコミュニティ協議会の会長もやっていたのですけれども、病気になったことを機に、会長が交代ということになりました。私のほかにも有力者がいっぱいいたのですけれども、皆さんお断りになって、私のところに回ってきて、頼まれたことは、はいかイエスで答えるということをよく言われていますので、自分に負荷をかけるつもりで引き受けました。現会長から、勉強のためにも自治協議会の委員になるよう薦められ、参加することになりました。その分、いい勉強をさせてもらっていると思うので、皆さんの意見をいろいろと聞きながら、いいことは取り入れていきたいと思えます。ただ、私のように現役世代の人が自治会やコミュニティ協議会に入っていくのは現状では難しいのではないかと考えています。

(議 長)

ありがとうございました。突然のお話で大変恐縮でございました。

そのほかにも、自分はこういった形で地域活動に入ったということをご紹介いただける方がおられましたら、ご発言をお願いしたいと思います。

それでは、この件について、そのほかにご自分の意見をお持ちの方がおられるようでしたら、端的にお話しいただきたいと思いますが、いかがでしょうか。

それでは、上之山委員からいただいた資料に基づき、私のほうで考えてみたいと思うのですけれども、確かに住民の意識が低くなった、平日に活動できる人が少なくなった、近所づきあいをしなくなったということと、もう一つ、就業年数によって定年が60歳から65歳、70歳になり、仕事をしている方が、地域活動をするようになっている。働きながらもコミュニティ協議会に参加できるという環境を作っていかなければならないのかなということだと思います。私は自治協議会を4期させていただいていますけれども、それをやっていく中で、中央区のことにも詳しくなりましたし、部会や全体会を通して、人とのつながりが多くなったと感じております。退職して、だれともつきあいがいいという方であれば、こういうところに参加して、自分が持っている経験を生かして、活躍の場にすると。私の持論かもしれませんが、地域活動というのは人と人のつながりなのです。ですから、それをいかに地域の人たちが意識を持ってやっていくことが大切ではないかと考えております。これは、大変深い問題であります。ですから、もしこの問題について、ご自分はどういう意見があるのだということであればまとめていただいて、事務局に提出していただいて、また皆さんと討議をするということにしたいと思います。よろしいでしょうか。

(上之山委員)

皆さんからいろいろなご意見、ここに至った経緯を聞かせていただきまして、ありがとうございます。実は私、こんな提案をしておきながら、解決方法といえるのかどうか分からないのですけれども、今、自治会で実行に移している取り組みがあります。名づ

	<p>けて「スマート自治会」としています。「スマート自治会」の「スマート」はスマートフォンです。これは即効性のあるものではないですが、人と人とのつながりを感じられるような自治会役員の体制を目指しております。これは次回のときまでにまとめてみたいと思います。</p> <p>(議 長)</p> <p>ありがとうございます。よろしく申し上げます。</p> <p>6 閉会</p> <p>(議 長)</p> <p>以上をもちまして、本日の自治協議会は閉会としたいと思います。 皆さん、お疲れ様でした。</p>
県議・市議	9名
傍 聴 者	2名
報道機関	0社